

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について

本大会は2018年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 競技場使用上の注意

- 1) 競技場は全天候舗装である。なお、スパイクピンは11本以内で長さは9mm以下とする。
- 2) 応援は規制箇所以外において競技エリア内で応援することが出来る。また、審判員の指示のもと第7レーンまでの立ち入りを認める。ただし、鳴り物を使用するなど競技運営に支障の出る応援、または伴走、助力と判断される行為をした大学は審判長の判断のうえ警告あるいは失格勧告を与える。(競技規則第144条参照)
- 3) 許可を得ていないカメラやビデオによる撮影を禁止する。学生については原則として所属する大学のジャージを着用して撮影すること。学生以外で撮影を希望する場合は大会本部内受付へ申し出を行い、撮影許可証を着用し撮影すること。

3. ナンバーカードについて

- 1) ナンバーカードは学連登録時に配布したナンバーカード2枚を胸部と背部に確実に着けること。
- 2) 腰ナンバーカードは招集所で受け取り、レース終了後フィニッシュ付近にて係員に返却すること。

4. 招集について

- 1) 競技者招集所は陸上競技場の南倉庫で行う。
- 2) 招集時間はタイムテーブルの通りとする。
- 3) 代理人による点呼は認めない。

5. 競技者変更について

メンバーエントリー後の選手変更は認めない。ただし急な発病などで正選手が出場できない場合、補欠選手の補充を認める。その場合、医師・トレーナーの診断書を提出すること。

6. 練習について

競技および競技運営に支障をきたさない範囲での競技エリア内、トラック外の使用を認める。ただし開閉会式中は使用を禁止する。現場審判員の指示に従うこと。一般利用者および歩行者等の迷惑にならないよう、十分注意すること。

7. 競技について

1) 計時・計測について

トラック競技の計時と順位判定は、写真判定機を用いて行う。(1/100秒)

2) 給水について

天候に応じて主催者が水を用意する。

3) 全日本大学女子駅伝対校選手権大会推薦校選考について

本大会に出場する6名の合計記録(1/100秒)の上位1校を10月28日(日)に開催される第36回全日本大学女子駅伝対校選手権大会の東海地区代表校として公益社団法人日本学生陸上競技連合に推薦する。上記の方法で決定しない場合、大学内最上位者の記録の優劣で上位を決定する。公式の結果発表は閉会式内で行う。

8. 式典について

開会式は行わない。閉会式を女子選考会終了後(19:00頃)より行う。

9. 応急処置について

競技中に発生した傷害、疾病についての応急処置は主催者側で行うがそれ以後の責任は負わない。ただし、2018年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。

以上の事柄および今大会の規則については、大会役員の協議が最終決定権を持ち、これは変更になる場合もあるので、アナウンスや掲示板に注意すること。また、学生競技者としてのマナーに逸脱するような行為があった場合は、処罰を与える。